

TOPに聞く 仕事論

経営者
INTERVIEW

代表取締役社長

川添 太郎 かわぞえ たろう



日本製線 株式会社

ニッポンセイセン

成長産業で国内トップシェア 自身を伸ばしやすい環境を実現

PROFILE

1967年生まれ。1992年3月に工学院大学工学部を卒業。2002年10月に日本製線株式会社入社、常務取締役、専務取締役を経て、2015年4月より現職。

▼ 企業公式サイト



▼ Youtube



LANケーブルの 国内トップシェア企業

弊社は1938年に創業し、2024年に86周年を迎える会社です。現在は情報ネットワーク・電流ヒューズ・マグネットワイヤーの3つの自社ブランド製品群の開発・製造・販売を手掛けています。メインの商材はネットワーク関係のLANケーブルとこれに付随するコネクタ類で、ケーブルに関しては10年以上前から国内トップシェアを維持しています。インターネット黎明期の頃、ネットではホームページの閲覧やメールの送受信くらいしかできませんでしたが、以降は音楽や映画のダウンロード、現在はストリーミングを楽しむ時代を迎えました。ネットワークのスピード・需要の高まりを受け、弊社の商品が支持されるようになり、占有率は約50%に達しています。プラグやジャックといったコネクタ類も相乗効果で売れるようになり、ここ数年は前年比120%で伸びている状況です。現在は東京本社を中心に、北は北海道から南は沖縄まで8つの支店・営業所を置き、商社や施工業者などとコミュニケーションを取りながら、進化するネットワーク事情に応じた製品開発を進めています。群馬県前橋市に加え、フィリピン、中国にも製造拠点を構えています。常に意識しているのは、マーケットの動向です。インターネットの世界や電子部品が使われる機器は変化が激しく、市場で何が受け入れられるのか、何を作るべきかを営業・開発・製造部門と連携しつつ、経営方針を定めています。

成長産業に身を置き 自分自身を伸ばす

成長産業かつトップシェアということもあり、セールス部門であればテレアポや飛び込み営業はなく、目標は定めますがノルマを課すこともなし。平日の残業や休日出勤はほぼありません。取引先からの要望やトラブルに適切に対処するなど、お客様とともに自らを伸ばすよう社員に伝えています。社内は5~6名の小さな組織の塊なので、裁量を与えられPDCAを回しながら仕事に向き合いやすく、やりがいや成長を実感しやすいのは、弊社ならではの環境です。

日々の業務で意識してもらいたいのは、「以和為貴(和を以て貴しとなす)」という社是です。これは聖徳太子による一説で、ひとりで物事を進めず、チームワーク大切にせよという

意味。具体的には報連相を徹底するよう求めています。弊社は営業本部と工場が地理的に離れており、これらが欠けるとタイムラグが生じ、結果的にお客様にご迷惑をおかけする恐れがあります。自分だけで抱え込むのではなく、常に連絡を取り合い情報共有しながら業務を遂行してほしいと考えています。思い描くキャリアを実現しやすい環境も整えており、年に1回提出する自己申告書はそのひとつです。ここでは現状に対する満足度、異動や転勤の希望などを記載してもらい、可能な範囲で応えています。

コミュニケーションを 大事にする人を求める

我々が求めているのは、コミュニケーションを大切にしている人材です。良いことも悪いことも早く聞きたいですし、直属の先輩やリーダー、管理職に報告することを極めて重視しています。報連相を心がけていると社内やお客様からの信頼にもつながります。加えて、チャレンジ精神が旺盛で、一人ひとりが違う持ち味を発揮することで新製品の開発が成功することもあり、個性あふれる方も大歓迎です。海外市場を拡充する方針なのでグローバルに活躍したい人にも弊社は向いています。いずれにしても、成長産業であり業界トップの会社で働くことは、かけがえのない経験になるはず。今後は次世代のまちづくりや新技術のプロジェクトに携わることも決まっております。最先端のテクノロジーに触れることもできます。興味があるなら、ぜひ弊社を志望していただきたいです。



▲ 営業本部と製造部門のリモート会議の様子。社内のコミュニケーションを大切にしている。

COMPANY PROFILE

所在地 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号 新橋駅前ビル1号館 5F
TEL 03-3572-3471
設立 1938(昭和13)年7月
従業員数 262名
売上高 87億円[2024(令和6)年3月期]
事業内容 情報通信用ケーブル、ヒューズ、巻線等の製造販売
URL <https://nscable.co.jp/>



本社所在地

東京

製造